

学外研修報告(2019年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員マネジメント研究会)

共通機器部門・情報基盤機器管理班 開内 幸治

1. はじめに(目的等)

今回参加した2019年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員マネジメント研究会は組織をけん引する人材のレベルアップを図ると同時に、クリーンなリーダー像を目指し、ハラスメントの予備知識を身に着けることを目的とした研究会である。技術班長としてマネジメントに必要な知識等の習得のため参加した。

2. 期間・場所

期間：2019年8月29日～30日

場所：広島大学東広島キャンパス

3. 参加者等

大学、高等専門学校に所属する技術職員30名

4. 研修内容

1日目は(株)インソース中四国支社の守田久美子氏によるマネジメント研修を受講し、2日はハラスメント相談室の横山美恵子氏による職場のハラスメント対策、広島大学・呉工業高等専門学校・広島商船高等専門学校の3校の業務の現状について聴講した。

5. まとめと感想

1日目のマネジメント研修ではチームリーダーをキーワードとした研修で、1)自分に求められる役割、2)後輩を指導・支援するというトピックでグループディスカッションを行った。業務分野が異なる班であるため、適切な助言・協力体制が難しい場合が他機関でも発生している現状がわかり有意義であった。今回は主に後輩への対応について述べられており、全てではないが一部当てはまるケースもあり、参考になった。

2日目のハラスメント対策では事例による説明がされており理解しやすかった。また、業務の現状では年齢構成の問題や協働について述べられていた。本学でも起こりうる問題であり、改善は難しい問題であることが再認識できた。